

基本情報						
教科・科目		数学2	・授業で使用するもの テキスト「これからの数学1」「体系数学1 幾何編」「体系数学2 代数編」 問題集「体系問題集1 幾何編」「体系問題集2 代数編」 ノート、直線定規、コンパス			
担当者		吉川				
評価割合(試験:試験外)		試験:6 試験外:4				
年間を通じて教科で培う力		知識(知識及び技能)	基本的な用語や記号の意味を理解できる。計算方法を理解し、正しく使える。 定規やコンパスを使って正しい作図ができる。			
		理解(思考力・判断力・表現力等)	自分が考えたことを数学的に表現できる。証明の型を作ることができる。 なぜこの手法で作図ができるかを考えることができる。			
		探究・概智(主体的に学習に取り組む態度)	個々の感じている課題に対して粘り強く最後まで取り組む姿勢がある。 学んだことを他の事象に転用できる。			
学習情報						
月	回	単元名	単元目標(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
45	9	平面上の直線 図形の移動	・図形における数学的な用語や記号の意味を理解し、正しく使うことができる。 ・図形の平行移動、回転移動、対称移動について理解し、その性質を用いて図形の移動を説明できる。	・円や直線、半直線などの用語の定義を学ぶ。 ・2つの合同な図形を重ね合わせる移動を、平行移動と回転移動を使って表現する。 ・図形の対称軸や対称の中心を書き入れることで、対称性に関する感覚を養い、対称移動した図形を描写する。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・課題への取り組み ・小テスト ・再テスト
6	定期試験① 令和7年6月2日—6月4日					
6	4	作図	・作図の基本的な方法を理解し、それらを用いてさまざまな作図について方針を立てることができる。	・角の二等分線、垂直二等分線を作図し、なぜその方法で作図できるか言語化する。 ・コンパスが果たす役割を考えながら、正多角形や平行線などの作図方法を発見する。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・課題への取り組み ・小テスト ・再テスト
67	5	円 いろいろな立体 空間における平面と直線	・円の用語を理解できる。 ・いろいろな立体の特徴を説明できる。 ・空間における平面と直線の関係について想像することができる。	・円の弦や弧、接線、内心や外心などの定義を学ぶ。 ・多面体について学び、特に正多面体の特徴を分析する。 ・空間における直線同士の位置関係、直線と平面との位置関係、平面と平面との位置関係の数学用語を学ぶ。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・課題への取り組み ・小テスト ・再テスト
7	定期試験② 令和7年7月9日—7月11日					
9	7	立体のいろいろな見方 立体の体積と表面積	・投影図から立体図形を正確に描写できる。 ・三角柱の体積を求める式を利用して、様々な立体の体積の公式が説明できる。	・投影図だけでなくどの立体図形の情報伝わるように、正確に投影図を書く。 ・側面積と表面積の違いを学ぶ。柱の体積と表面積の求め方を学ぶ。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・課題への取り組み ・小テスト ・再テスト
10	4	平行線と角 多角形の内角と外角	・平行線や多角形に関する角の性質を発見し、それらを用いて角度を求めることができる。	・対頂角、同位角、錯角の位置関係を学び、平行な2直線に交わる直線による角度を求める演習を行う。 ・三角形の内角の和が $180^{\circ}$ となることを平行線を引くことで示し、多角形を三角形に分割することで、多角形の内角の和の公式を発見する。さらにこれを利用して、外角の和が $180^{\circ}$ となることを発見する。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・課題への取り組み ・小テスト ・再テスト
	定期試験③ 令和7年10月20日—10月22日					
1011	2	三角形の合同	・三角形の合同条件についてその必要性を理解し、合同な三角形とその合同条件を書くことができる。	・合同な図形の性質を確認し、その表し方について学ぶ。 ・三角形の合同条件についてまとめ、合同にならない1つの三角形を考え、そのときどのような条件が加われば合同になるかを考える。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・課題への取り組み ・小テスト ・再テスト
11	5	データの整理 データの代表値	・扱うデータの量と目的に応じて、最適なグラフや代表値を選択できる。	・1つのデータを複数のグラフで表現し、場面や目的に応じた最適な表現方法を考える。 ・年取データなどを扱い、そのデータを代表するのは、平均値、中央値、最頻値のどれがふさわしいか、議論する。議論を通し3つの代表値の違いを理解する。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・課題への取り組み ・小テスト ・再テスト
1112	5	データの散らばりと四分位範囲	・代表値では表現できないデータの散らばりを箱ひげ図で表現できるようになる。	・平均値、中央値のみでは違いが表現できない2つのデータの散らばりを表現する方法を考え、箱ひげ図の必要性を理解する。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・課題への取り組み ・小テスト ・再テスト
12	定期試験④ 令和7年12月10日—12月12日					
1	8	証明	・三角形の合同の証明を書くことができるようになる。	・仮定と結論が何かを理解し、それらが逆になった命題がもとの命題と何が違うのか、他者に説明する。 ・図形の証明の書き方を学び、一つの型を身につける。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・課題への取り組み ・小テスト ・再テスト
2	5	平面図形、空間図形のまとめ	・今年度学習した図形についてのさまざまな問題を解けるようになる。	・図形問題の復習と演習	・講義 ・演習	・課題への取り組み ・小テスト ・再テスト
3	定期試験⑤ 令和8年3月4日—3月6日					